

# 近代仏教研究から何を学ぶか

## 東西両本願寺の動向を中心に

### 若手研究者らの座談会

- 出席者
- 碧海 寿広 (龍谷大学アジア仏教文化研究センター博士研究員)
  - 近藤俊太郎 (本願寺史料研究所研究員)
  - 岩田 真美 (龍谷大学文学部真宗学科講師)
  - 大澤 絢子 (龍谷大学世界仏教文化研究センターリサーチ・アシスタント)
  - 丸山 貴久 (法蔵館編集部)

近年、注目を集めている「近代仏教研究」。明治政府の圧力を跳ね返した浄土真宗本願寺派の島地黙齋、真宗大谷派の教学の要となっていた清沢瀧之と其の門下による「精神主義」の浸透など、仏教界の危機に伝統教団から傑僧ともいえるべき人物が相次いで出た。檀家制度が揺らぎだした現代の宗教界が進むべき方向を示すヒントが、近代仏教のどこにあるのか、若手研究者ら5氏に語り合ってもらった。(文責編集部)

### 近代仏教研究を志した理由と研究の現状について。

碧海 私は、元々は仏満とその門下の「精神主義」運動の研究を始め、教民俗学者の五来重についで研究していき、たまたまかかわります

野の研究者が集う場として、会い、近代仏教研究の世



近藤俊太郎氏

本願寺史料研究所研究員  
著書に『天皇制国家と「精神主義」——清沢瀧之とその門下』(法蔵館、2013年)。共編著に『近代仏教スタディーズ 仏教からみたもうひとつの近代』がある。

が、末文美士氏(国際)が、清沢の没後100年日本文化研究センター名の2003年に『清沢瀧之の論などに影響を全書』が岩波書店から出版される中、大谷栄一氏刊行され、清沢は真宗大(佛教学教授)から研谷派の外でも知られるよ研究会に誘われ、近代仏教うになりました。同じ頃、研究のネットワークに入末木氏が近代仏教に関するりました。ここ数年、多る本を2冊刊行したこと

の研究書が出されてい、近代仏教研究が「一気ですが、特に昨年は『近代に活性化しました。末木代仏教スタディーズ』法氏の本の中で、清沢は近蔵館)『入門 近代仏教代仏教のキーマンとして思想』(ちくま新書)と取りあげられています。いう2冊の入門的な本もつまり、清沢研究の盛り出版され、活気づいてい

て成長してきました。だ界に入り、そこで夫(大谷栄一氏をはじめ様々な先生方と出会い、若手の野では黒田俊雄氏が提示

された有名な「顕密体制う人が多いようです。祖

近藤 近代仏教研究の盛り上がりは2000年以降で、私が清沢本史の中の一領域という

つ進んできたわけですが、岩田 私は大学時代の恩師の武田龍精先生が比較思想研究や宗教科対話に取り組みれていた影響もあり、真宗とキリスト教の比較思想の研究をしていきました。博士課程のときから、禁制であったキリスト教が幕末に入っ

危険の時代といわれている今、近代から学ぶこと

近藤 近代仏教研究で進められたことを論じては「近代的再編」に関心が向けられてきました。みなさんが自明視していた宗教関係の物事の多くが、実は近代になって作られたものなのです。例えは「近代仏教スタディーズ」では、「仏教あるいは宗祖親鸞聖人」像が固定化されて語り継がれてきました。親鸞伝



大澤 私は学部では社会学を専攻していましたが、大学の立場からの「排耶論」を研究しました。川弘文館、1961年)教への危機感と対抗意識

丸山 貴久 (法蔵館編集部)

丸山 近代における出ている。『近代仏教ス



丸山 貴久 (法蔵館編集部)

丸山 貴久 (法蔵館編集部)

丸山 貴久 (法蔵館編集部)

### 前近代の仏教との違い、また近代仏教の特徴は。

近藤 近代仏教研究で進められたことを論じては「近代的再編」に関心が向けられてきました。みなさんが自明視していた宗教関係の物事の多くが、実は近代になって作られたものなのです。例えは「近代仏教スタディーズ」では、「仏教あるいは宗祖親鸞聖人」像が固定化されて語り継がれてきました。親鸞伝

丸山 貴久 (法蔵館編集部)

丸山 貴久 (法蔵館編集部)

## 謹賀新年

皆々様のおかげと感謝の  
気持ちで一杯でございます。

千代八福 京都市下京区油小路通正面下ル  
振替 〇一〇〇一四一〇一四  
電話 〇七五二三五一一九〇四  
FAX 〇七五二三五一一九三五

丹庄 奥野法衣店

## 謹賀新年

各宗念珠・金欄打敷  
仏具一式・御法要記念品

# 日下念珠店

〒600-8174 京都市下京区烏丸通花屋町下ル  
電話 (075)351-6325・FAX (075)341-5255  
定休日：日曜日



